

第 15 回 統計品質改善会議 議事概要

- 日 時：令和 7 年 5 月 23 日（水）15:30～
- 場 所：中央合同庁舎 2 号館 14 階 情報政策本部会議室 A B
- 議事概要：以下のとおり

【資料の説明】

以下の議事に関する資料を事務局が説明

議事：「国土交通省統計改革プラン」の改定に向けて

【構成員からの主なご発言】

- これまでに統計改革プランを着実に実行し、その成果も上がってきている。今後、同プランを改定し、さらに実行していく方向性を高く評価する。
- 次期プランには、いつまでに何に取り組むかを検討し、3 年程度先を見据えた工程表も作成することにより、個別課題への対応方針を明確にした方が良いのではないか。他方、その実務者には負担感も加わるが、目標がないと新しい内容への取組が遅れるので、是非、この点も御検討いただきたい。
- 統計 DX により、政策立案や統計の見直し等のための時間を確保できるようになると思うので、その方針の下で引き続き取り組んでいただきたい。
- 業務マニュアルは昨年度末までに各担当から提出され、スケジュールを組んでチェックとフィードバックを行うことになっていたと思う。次回以降に状況を提示していただきたい。
- DX 化、オンライン回答率の向上、e-Survey の活用がかなり進んでいる部分もあるが、導入率が低い場合もある。あまり進展していない項目の原因や問題点をまとめ、改善策や代替案を検討できるようにした方が良い。
- 検討の方向性は資料のとおりだと思う。この方向性で取組を進めるためには、統計に関する意識の高い方々がこれからも継続的に活躍できるようにする姿勢が必要である。言い換えると、今後の統計の品質改善に大事なものは、皆さんの経験や知識を次の世代や後輩にどう引き継いでいくかなど、統計に関わる人材育成の仕組みをしっかりと構築することである。
- 統計分野は人員や予算の削減対象になりやすい場合があるので、そうならないように政府の統計をしっかりと見直し、使われる統計を目指すことが重要ではないか。

以上